

未来寺子屋

かわらばん

11月3日(祝・火)の午前、本證寺で今年度4回目の「未来寺子屋」として「本證寺の魅力体験ツアー」を開催。当日は、安城市内外から大勢の方にお越いただき大盛況！市民や事務局スタッフ含めて44人の参加がありました。

まずは小山御住職から本證寺にまつわるお話を聞いたあと、御住職の案内で境内を巡りました。再び本堂に戻ってからは質疑応答タイム。最後に、1人1人がカードにツアーの感想や「本證寺のために〇〇します！」を書いて貼り出しました。

あらためて 本證寺の 魅力体験ツアー！

1 ご住職と巡る魅力体験ツアー

「聖徳太子絵伝」

日本に仏教を持ち込んだ聖徳太子を慶円上人は大変リスペクトしていました。当時の人は読み書きができなかったので、絵を使って説けばいいんじゃないの、というのが「聖徳太子絵伝」。すごく大きくて10幅あります。この絵に大変な手間とお金をかけたのは、慶円上人が何とかして仏教を伝えたいと思ったからだと思います。飢饉も疫病もあって、明日をも知れぬ命という時代に、信じられるものは仏様の教えだったんですね。



「聖徳太子絵伝」



小山住職

寺内町

大阪城は大きな城ですが、室町時代にはそこに私達の御本山の石山本願寺が建っていました。そしてこの御本尊をモデルに全国に「寺内」というお寺を中心とした町がつけられました。本證寺はこの様相を色濃く残す全国でも稀な寺。堀と土塁があって、その中に人が集まり、宿屋やお店、学校、病院もあったそうです。そしてこの中は守護不入、いわゆる治外法権。困った人、社会的弱者が次々に来て町が形成されました。



本證寺周辺図

三河一向一揆

お寺が影響力を広げていることを由々しきことと思った家康が、「寺内」に干してあった種籾を部下に奪い取らせたのが三河一向一揆のはじまりだそうです。普通、一揆は生活に不満を持つ民衆対為政者という構図ですが、お寺と家康が戦うことになって、家臣達は、領主を取るか信仰を取るかで揺れ動きました。本多忠勝は宗旨を変えて家康につき、本證寺に足繁く通っていた本多正信は一揆方に加勢。お互いに戦略も熟知し、敵か味方もよくわからんという状態で、普通の一揆よりも多くの血が流れ、命が奪われたそうです。

戦いは和議を結びますが、半年後、簡単に反故に。そして坊主軍の退去、寺内の破却、禁教、そして守護不入も剥奪されます。ここは「野寺」と言いますが、本当に野原になった。堀も埋められ土塁も削られました。

一揆のリーダーに祭り上げられた空誓上人(蓮如上人のひ孫)は、妻子を伴って足助の香嵐溪から7~8km離れた菅田和というところに行き、大きな洞穴に20年間隠れ住みました。それから許されて戻ってきて、一揆からちょうど100年後の1663年(寛文3年)末にはこの本堂が建ち、緒伽藍が建ち、大体300年くらいかけて元の状態に戻りました。

鳥の声しか聞こえないようなところで空誓上人は何を考えていたんだろうと、いつもお参りしながら思っています。とても寒い所ですし、この地に戻ろうという思いをずっと秘め、その志が孫にまで伝わって、今こうして建っているということは非常にありがたいことだなあと感じます。



お茶処

昔、境内には「お茶処」がありました。志をお預かりして本堂に上がっていただく参拝接待所。江戸時代は、一揆の先導をするんじゃないかということで、ずっと法話が禁止されていて中では儀式だけ行われていました。だから、この参拝接待所でお茶を飲みながら法を説くということが行われていたそうです。



庫裏

庫裏では、学童疎開時に 100 人くらいが暮らしていたそうです。東南海地震では多くの家が倒れてしまいましたが、ここは立派な梁があるから倒れなかった。私のひいおじいさんがお風呂をこさえて子ども達を入れていたそうで、いつも「懐かしい」と言ってもらいます。まさにお寺のあり方かなと思います。

雨漏り御殿～イブキの木

親鸞上人が京都に戻る時に、本證寺に立ち寄りました。雨漏りする書院でしたが、親鸞聖人には雨がかからなかったそうです。そして、親鸞聖人が泊めてもらったお礼に床の間に生けてあったイブキの枝を書院の横に植えると、みるみるうちに大きくなったということです。

イブキは樹齢 800 年。一揆の時に境内の建物全てなくなり、樹齢 800 年と言われる松の木も、平成に入って松くい虫にやられました。イブキの木が唯一残っている、本證寺の歴史を全部知っている生き証人なんです。



本多正信の墓

中庭には、本多正信のお墓があります。お骨は浅草の徳本寺にありますが、私達の尊敬をこめてお礼としてここに残したと聞いています。

横に立っている木はタラヨウという木。葉っぱに傷をつけると字が浮かび上がる。紙の代わりにお経を書いたということで、「お経の木」とも言われています。



2 感想の共有&コミットメント

Awareness 本日の体験ツアーをふりかえって気づき・発見は？

御住職のお話が大変よかった／子どもの頃に祖父に連れられて見に来た堀、土塁の風景を思い出しました／土塁と堀に歴史を感じ感動。残してくださった方々に感謝／本證寺さまの体験ツアーですますお寺様が好きになりました／イブキの木は 800 年前からの本證寺の生き証人である話を聞きびっくりしました／本多正信の墓があるとは！ほか

Commitment 本證寺の魅力を活かして、私は…を約束します。

今度は友人を連れてきます／本證寺さんのこの風景を次の世代に残すお手伝いをする！／折りに触れてまずは「知る」学びを深めていきます／本證寺さまを応援していきます ほか

安城市教育委員会
文化振興課（歴史博物館内）
☎ 0566-77-4477
✉ bunkazai@city.anjo.lg.jp